

JOSCHKA FISCHER

Foreign Minister of Germany (1998-2005)

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Joschka Fischerは、ドイツの元副首相兼外相（1998年-2005年）です。彼はグリーン政党をドイツの政治の中心に届け、州レベル（ヘッセン）と連邦レベルの両方で、政府への最初の参加を導いた。

フィッシャーの外相としての任期は、ドイツの外交史において重要な時期でした。彼はコソボ戦争におけるドイツの最初の第二次世界大戦後の活動的な軍事任務、およびアフガニスタンでのNATOの介入に加わるドイツ軍の配備を監督しました。フィッシャーは、イラクでの戦争に対する政府の批判的な立場で主導的な発言であった。2003年、フランスと英国の外相（ジャック・ストロー）とともに、イランとの核計画に関するEU3の交渉を主導した。

1994年にフィッシャーは連邦政治に入り、1998年にシュレーダー閣僚に加わる前に、グリーン党の連邦議会グループの共同議長になりました。

2005年に辞任した後、彼はプリンストン大学の自己決定に関するリヒテンシュタイン協会のシニアフェローであり、そしてウッドローウィルソン公共国際問題大学院の客員教授でした。彼は国際的な外交に積極的に取り組んでおり、2008年以来Albrightグループの上級戦略顧問を務めています。彼はスピネリグループのメンバーでもあり、国際危機グループの理事を務め、欧州外交問題評議会の共同議長も務めています。

Topics

- Cities
- Environment
- Government
- Politics